

インプラント治療の現在(3)

(Vol.223の続き)しかし、歯の無い所への治療方法としていくら優れているインプラント治療といえども、治療後、一生涯まで利用していただけるかどうかは、不明です。もちろん1~2年でダメになるようなものではありませんが、メンテナンスとして治療後も歯科診療所とお付き合いが続きます。基本を守って長く快適に使用していただけるかどうかは、患者さん本人と、担当した歯科医師や歯科医療スタッフとの協力関係(2人3脚?)ではないでしょうか?

もし、万が一、治療後に安定していたはずのインプラントが、問題が起きた時にはどうしたら良いのでしょうか?もちろん、インプラント治療を手掛けた歯科医院の歯科医師に連絡をしてすぐに受診すべきですが、それには、日頃のメンテナンス治療という定期的な検診チェックと維持管理システムによるインプラント周囲の歯周病予防が大切なのです。それを定期的に行っていれば、あまり問題が起きる事は無いと言われておりますが、実はインプラント治療後にメンテナンス治療を維持継続している方々は、実際には非常に少ないのが現状だそうです。インプラント治療の先進国であるスウェーデンやアメリカ合衆国でもインプラント治療後のペリインプランタイトィス(インプラントの周りの歯周病)に罹る患者さんのほとんどが、このメンテナンス治療を行っていないといわれております。

《インプラント治療後のメンテナンス治療がいかに重要であるか》という事でしょう。せっかく大変な思いと多額の治療費を払いながらインプラント治療を受けたのに、その後のメンテナンス治療を怠った(サボった)ためにインプラントがダメになり撤去(手術して除去)することになったら?大切なインプラントを守るための顎の骨が無くなったら?...そこは二度とインプラント治療は出来なくなるかもしれません。もし、除去後に顎の骨を作って再インプラント治療が可能だとして、もう一度最初からあの治療を受けたいでしょうか?インプラント治療を受けたくても断念する患者さんの一番の理由は、経済的な問題だそうです。1本の治療費でも全国平均的に35万円~40万円台、都会では、50~60万円位との話もあります。その治療費をまた捻出しますか?治療後にすぐに失敗となれば担当歯科医が無償で保障してくれるか治療費の返金が受けられるでしょうか、治療後に何年も経ってからメンテナンス治療を実施していないと、担当歯科診療所でも保証はしてくれないのが常だそうです。中にはインプラント保険に加入の歯科医院もある時代ですが、これもインプラント保険の保険会社からは、日頃のメンテナンス治療を実施していたかどうかが問われ、実施していない場合は、せっかく保険料を払っていても保険の補償の対象外とされてしまうようです。

やはり一番いいのは、自分の歯でしょうが、もしその歯を失ってしまったら(年齢にもよる)すぐにでもインプラント治療を受け、その後はきちんとメンテナンス治療も続けましょう。

(院長)



彼岸花 (曼珠沙華)について

秋のお彼岸の時期に一齐に赤い花を咲かせる彼岸花 (別名 曼珠沙華)

今回は、この彼岸花について調べてみました。

彼岸花には、色々な品種があるのを知っていますか？

色によって主に3品種あり、花言葉も花の色によってそれぞれ違いがあります。

赤い彼岸花の花言葉

情熱・想うはあなたひとり・あきらめ・再会
悲しい思い出・また会う日を楽しみに等です。



黄色い彼岸花の花言葉

陽気・平気な心・深い思いやり
追想等です。

白い彼岸花の花言葉

想うはあなたひとり・また会う日を楽しみに
と赤い彼岸花に共通する花言葉です。



不吉なイメージがある彼岸花ですが、花言葉からも意外な一面を知ることが出来ます。
今年の秋のお彼岸は、今までと違った視点で彼岸花を眺めることが出来るのでは
ないでしょうか。